|  |
| --- |
| **２５５３．保税蔵置場在庫状況照会**  **（輸出）** |

|  |  |
| --- | --- |
| 業務コード | 業務名 |
| ＩＷＨ | 保税蔵置場在庫状況照会（輸出） |

１．業務概要

保税蔵置場に蔵置されている輸出貨物情報について、混載業単位、航空会社単位等（照会パターンは９通り）に照会する。

２．入力者

税関、航空会社、保税蔵置場

３．制限事項

照会パターンに「０１」～「０８」が入力された場合は、１業務で処理可能なＡＷＢ件数は最大１６件とする。

４．入力条件

（１）入力者チェック

①システムに登録されている利用者であること。

②利用者毎に照会可能なパターンが設定されており、照会可能な照会パターン番号は、以下の通りである。

表１　照会パターン番号別入力利用者コード表

○…照会可

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 照会パターン  入力  利用者コード | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 |
| 保税蔵置場 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |  | ○ |
| 受　託　社 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 受託社以外 | ○ | ○ | ○ |  | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 税　　　関 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

（２）入力項目チェック

（Ａ）単項目チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

（Ｂ）項目間関連チェック

「入力項目表」及び「オンライン業務共通設計書」参照。

５．処理内容

（１）入力チェック処理

前述の入力条件に合致するかチェックし、合致した場合は正常終了とし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」を設定の上、以降の処理を行う。

合致しなかった場合はエラーとし、処理結果コードに「０００００－００００－００００」以外のコードを設定の上、処理結果通知の出力を行う。（エラー内容については「処理結果コード一覧」を参照。）

（２）輸出貨物情報抽出処理

入力された照会パターン番号と入力項目の照会条件に該当する輸出貨物情報を輸出貨物情報ＤＢより抽出する。なお、照会可能なＡＷＢが１６件を超える場合は照会情報を再度送信することにより次の１６件を抽出し、照会する。

（３）保税蔵置場在庫状況照会（輸出）情報編集処理

（ａ）輸出貨物情報ＤＢより編集処理を行う。

（ｂ）ＡＷＢ番号は下１桁でソートし出力する。

（４）保税蔵置場在庫状況照会（輸出）リスト情報編集処理

（ａ）輸出貨物情報ＤＢより編集処理を行う。

（ｂ）ＡＷＢ番号は下１桁でソートし出力する。

（５）注意喚起メッセージ出力処理

①照会の対象となるＡＷＢ件数が１６件を超える場合は、注意喚起メッセージとして保税蔵置場在庫状況照会（輸出）情報に出力する。

②内部処理を実施している旨を注意喚起メッセージとして処理結果通知に出力する。

６．出力情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 情報名 | 出力条件 | 出力先 |
| 保税蔵置場在庫状況照会（輸出）情報 | なし | 入力者 |
| 保税蔵置場在庫状況照会（輸出）リスト情報 | 照会パターン番号が「０９」の場合 | 入力者 |

７．特記事項

（１）照会パターン番号別入力項目は表２のとおりである。

表２　照会パターン番号別入力項目表

○印…必須入力　　　△印…任意入力

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 照会パターン  入力項目 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | \*1  09 |
| 保税蔵置場 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 棟記号 | △ | △ | △ | △ | △ |  |  |  | △ |
| 航空貨物代理店 |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |
| 混載業 |  |  | △ |  |  |  |  |  |  |
| 混載業利用者略称 |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  |
| 航空会社 |  |  |  |  | ○ | △ | ○ | △ |  |
| 受託航空会社 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |  |
| 積込港 |  |  |  | ○ | ○ | △ | ○ | △ |  |
| 搭載便名 |  |  |  |  |  | ○ |  |  |  |
| 仕向地域（１） |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  |
| 仕向地域（２） |  |  |  |  |  |  | △ |  |  |
| 仕向地域（３） |  |  |  |  |  |  | △ |  |  |
| 仕向地域（４） |  |  |  |  |  |  | △ |  |  |
| 貨物識別 | △ | △ | △ | △ | △ | △ | △ |  | △ |
| 要強制搭載完了入力表示 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |
| 全量輸出許可済表示 |  | △ |  |  |  |  |  |  |  |
| ＡＷＢ下１桁 | △ | △ | △ |  | △ |  | △ |  | △ |
| 仕立未済 | △ | △ | △ |  |  |  |  |  | △ |

（＊１）照会パターン番号「０９」については一回の入力で該当する貨物の情報をすべて出力する照会パターンである。

（２）照会パターン番号が「０９」の場合、１回の処理で照会対象となる輸出貨物情報を全件出力することから、入力可能時間帯に制限がある。（規制時間帯は別途定めることとする。）

（３）照会パターン番号別に処理対象とする貨物識別は以下のとおりである。

表３　照会パターン番号別貨物識別表

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 照会パターン番号 | 01 | 02 | 03 | 04 | 05 | 06 | 07 | 08 | 09 |
| 照会可能な貨物識別 | Ｍ  ・  Ａ  ・  Ｈ  ・  Ｌ | Ａ  ・  Ｈ  ・  Ｌ | Ｍ  ・  Ｈ | Ｍ  ・  Ａ | Ｍ  ・  Ａ | Ｍ  ・  Ａ | Ｍ  ・  Ａ | Ｍ | Ｍ  ・  Ａ  ・  Ｈ  ・  Ｌ |

記号　　Ｍ：　ＭＡＷＢ　　　Ａ：　ＡＷＢ　　　Ｈ：　ＨＡＷＢ　　　Ｌ：　未ラベル

なお、照会条件として貨物識別を指定した場合は、該当する識別の輸出貨物情報のみが出力されるが、貨物識別の指定を省略した場合には、前述の下線を付した貨物識別の輸出貨物情報を一括して出力するので留意する必要がある。

（４）照会されるＡＷＢの出力順序は該当するＡＷＢ番号の下一桁昇順に出力する。